

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成27年12月17日 (2015.12.17)

【公開番号】特開2014-97213(P2014-97213A)
 【公開日】平成26年5月29日 (2014.5.29)
 【年通号数】公開・登録公報2014-028
 【出願番号】特願2012-250911(P2012-250911)
 【国際特許分類】

A 6 1 H 5/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 H 5/00 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成27年10月29日 (2015.10.29)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 1】

上記目的を達成するため、本発明の第 1 の観点に係る目視検査訓練装置は、記憶手段、表示手段および表示制御手段を備える。記憶手段は、複数の文字または数字を不規則に配列した文字順追い表、および類似する複数の図形を不規則に配列した図形探し表の少なくともいずれかを含む目視検査訓練表を記憶する。表示手段は、目視検査訓練表を表示する。表示制御手段は、表示手段の表示の開始を制御する。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

複数の文字または数字を不規則に配列した文字順追い表、および類似する複数の図形を不規則に配列した図形探し表の少なくともいずれかを含む目視検査訓練表を記憶する記憶手段と、

前記目視検査訓練表を表示する表示手段と、

前記表示手段の表示の開始を制御する表示制御手段と、

を備える目視検査訓練装置。

【請求項 2】

訓練対象のユーザの、複数の文字または数字または図形を不規則に配列した不具合検出力試験表を用いた不具合検出力試験の試験結果を示す成績情報を取得する成績取得手段をさらに備え、

前記ユーザの成績情報に基づいて、前記文字順追い表の文字または数字の総数、および前記図形探し表の図形の総数の少なくともいずれかを変更し、前記ユーザの訓練負荷を調整する第 1 調整手段を備える請求項 1 に記載の目視検査訓練装置。

【請求項 3】

前記表示制御手段が前記目視検査訓練表の表示を開始すると、経過時間の計測を開始し、定められた訓練時間が経過すると、前記表示制御手段に前記訓練時間の経過を通知する計時手段をさらに備え、

前記表示制御手段は、前記計時手段から前記訓練時間の経過を通知されると、現在表示している前記目視検査訓練表の表示を終了する請求項 1 または 2 に記載の目視検査訓練装置。

【請求項 4】

訓練対象のユーザの、複数の文字または数字または図形を不規則に配列した不具合検出力試験表を用いた不具合検出力試験の試験結果を示す成績情報を取得する成績取得手段をさらに備え、

前記ユーザの成績情報に基づいて、前記訓練時間を変更し、前記ユーザの訓練負荷を調整する第 2 調整手段を備える請求項 3 に記載の目視検査訓練装置。

【請求項 5】

訓練対象のユーザの、複数の文字または数字または図形を不規則に配列した不具合検出力試験表を用いた不具合検出力試験の試験結果を示す成績情報を取得する成績取得手段をさらに備え、

前記記憶手段は、前記不具合検出力試験表と、前記不具合検出力試験表の正解の文字または数字または図形を示す正解情報とを記憶し、

前記表示制御手段は、前記正解の文字または数字または図形を見つけるよう指示するメッセージと共に、前記不具合検出力試験表を前記表示手段に表示させ、

前記成績取得手段は、

前記メッセージに対する前記ユーザの回答と前記ユーザを識別する情報の入力を受け付ける入力手段、および、

前記入力手段に入力された前記ユーザの回答と前記ユーザを識別する情報とを対応付けて前記記憶手段に記憶させる集計手段、を備え、

前記計時手段は、前記表示制御手段が前記不具合検出力試験表の表示を開始すると、経過時間の計測を開始し、定められた試験時間が経過すると、前記表示制御手段に前記試験時間の経過を通知し、

前記表示制御手段は、前記計時手段から前記試験時間の経過を通知されると、前記不具合検出力試験表の表示を終了し、

前記集計手段は、前記表示制御手段が前記不具合検出力試験表の表示を終了すると、前記記憶手段が記憶する前記ユーザの回答と前記正解情報とを照合して正解を集計し、前記ユーザを識別する情報と前記正解の数とを示す情報とを対応付けて、前記成績情報として前記記憶手段に記憶させる請求項 3 または 4 に記載の目視検査訓練装置。

【請求項 6】

前記表示手段に表示される前記目視検査訓練表の文字または数字または図形の大きさが 8 ～ 12 mm、文字または数字または図形の間隔が 10 ～ 15 mm、行間が 15 ～ 25 mm である請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項に記載の目視検査訓練装置。

【請求項 7】

記憶手段、表示制御手段および表示手段を備える目視検査訓練装置が実行する目視検査訓練方法であって、

前記記憶手段が記憶する、複数の文字または数字を不規則に配列した文字順追い表、および類似する複数の図形を不規則に配列した図形探し表の少なくともいずれかを含む目視検査訓練表を、前記表示制御手段が前記表示手段に表示させる表示開始ステップを備える目視検査訓練方法。

【請求項 8】

コンピュータを、

複数の文字または数字を不規則に配列した文字順追い表、および類似する複数の図形を不規則に配列した図形探し表の少なくともいずれかを含む目視検査訓練表を記憶する記憶手段、

前記目視検査訓練表を表示する表示手段、および、

前記表示手段の表示の開始を制御する表示制御手段、

として機能させるプログラム。